

インフルエンザワクチン予防接種問診票

任意接種用

※お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者をご記入ください。

★太ワクの中のみ記入してください。		1回目・2回目	診察前の体温	度	分
住所		男・女	生年月日	明治・大正・昭和・平成・令和	
ふりがな	()			年 月 日	(歳 ヶ月)
氏名			TEL	-	
(保護者の氏名)					

質問事項	回答欄	医師記入欄
今日受ける予防接種について説明文(裏面)を読んで理解しましたか	いいえ はい	
今日、体の具合のわるいところがありますか	ある(具体的に) ない	
現在、何かの病気で医師にかかっていますか	はい(病名) 薬をのんでいますか(いる・いない)	いいえ
最近1ヶ月以内に病気にかかりましたか	はい(病名)	いいえ
今まで特別な病気(心臓血管系、腎臓、肝臓、血液疾患、免疫不全症、その他の病気)にかかり医師の診察を受けていますか	いる(病名)	いない
近親者に先天性免疫不全と診断された方がいますか	はい	いいえ
今までにけいれん(ひきつけ)をおこしたことがありますか	ある 回ぐらい 最後は 年 月 日 ごろ	ない
薬や食品(鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか	ある(薬または食品の名前)	ない
これまで間質性肺炎や気管支喘息等の呼吸器系疾患と診断され、現在治療中ですか	はい 年 月 日 ごろ (現在治療中・治療していない)	いいえ
これまで予防接種を受けて特に具合が悪くなったことがありますか	ある(予防接種名・症状)	ない
1ヶ月以内に家族や周囲に麻しん、風しん、水痘、おたふくかぜにかかった方がいますか	ある(病名)	ない
1ヶ月以内に何かの予防接種を受けましたか	はい (予防接種名:)	いいえ
(ご婦人の方に)現在、妊娠していますか	はい	いいえ
(接種を受けられる方がお子さんの場合)分娩時、出生時、乳幼児健診などで異常がありましたか	ある(具体的に)	ない
その他、健康状態のことで医師に伝えておきたいことがあれば、具体的に書いてください		

【医師記入欄】

以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は (可能・見合わせる)

本人(もしくは保護者)に対して、予防接種の効果、副反応及び医薬品医療機器総合機構法に基づく救済について説明した。 医師の署名

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種を希望しますか (接種を希望します・接種を希望しません)	保護者の署名(もしくは本人の署名)
---	-------------------

使用ワクチン名	用法・用量	接種場所・医師名・接種日時
メーカー名	皮下接種	医療機関名: 国民健康保険和寒町立診療所
Lot.No.	<input type="checkbox"/> 0.25mL (6ヶ月以上3歳未満) <input type="checkbox"/> 0.5mL(3歳以上)	医師名: 接種年月日:

インフルエンザワクチンの接種について（裏面）

インフルエンザの予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、表面の間診票に出来るだけ詳しくご記入ください。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者がご記入下さい。

【ワクチンの効果と副反応】

予防接種により、インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くすることができます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。一方、副反応は一般的に軽微です。注射部位が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなる、しびれることがあります。通常は2～3日で消失します。発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、下痢、関節痛、筋肉痛なども起こることがありますが通常は、2～3日で消失します。過敏症として、発しん、じんましん、湿疹、紅斑（こうはん）、かゆみなどもまれに起こります。強い卵アレルギーのある方は強い副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出て下さい。非常にまれですが、次のような副反応が起こることがあります。(1)ショック、アナフィラキシー様症状（じんましん、呼吸困難など）、(2)急性散在性脳脊髄炎（接種後数日から2週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など）、(3)ギラン・バレー症候群（両手足のしびれ、歩行障害など）、(4)けいれん（熱性けいれんを含む）、(5)肝機能障害、黄疸、(6)喘息発作、(7)血小板減少性紫斑病、血小板減少、(8)血管炎（アレルギー性紫斑病、アレルギー性肉芽腫性血管炎、白血球破砕性血管炎等）、(9)間質性肺炎、(10)脳炎・脳症、脊髄炎、(11)皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、このような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出て下さい。なお、健康被害（入院が必要な程度の疾患や障害など）が生じた場合については健康被害を受けた方又は家族が独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて救済手続きを行うこととなります。

【予防接種を受けることができない方】

- 1、明らかに発熱のある方（37.5℃を超える方）
- 2、重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- 3、過去にインフルエンザワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーを起こしたことがある方
なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いで下さい。
- 4、その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した方

【予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない方】

- 1、心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの方
- 2、発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている方
- 3、カゼなどのひきはじめと思われる方
- 4、予防接種を受けたときに2日以内に発熱、発しん、じんましんなどのアレルギーを疑う異常がみられた方
- 5、薬の投与又は食事（鶏卵、鶏肉など）で皮膚に発しんが出たり、体に異常をきたしたことがある方
- 6、今までにけいれんを起こしたことがある方
- 7、過去に本人や近親者で検査によって免疫状態の異常を指摘されたことがある方
- 8、妊娠の可能性のある方
- 9、気管支喘息のある方

【ワクチン接種後の注意】

- 1、インフルエンザワクチンを受けたあと30分間は、急な副反応が起きることがあります。医療機関にいるなどして、様子を観察し、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- 2、接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- 3、接種当日は、接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- 4、万一、高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。